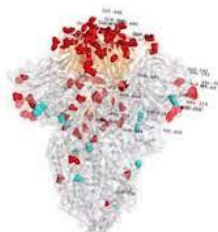


終わりは見えている筈だが、何となく不安な自宅療養中である。まさか、己がコロナに罹患するとは想像すらしていなかった。基本的対策はやっていた筈だから。



1 ブレークスルー感染

1月14日(金)夕刻孫娘が新年の挨拶とて来宅した。3日の新年会時には失恋の痛手で体調不良で集合出来なかったので、遅ればせながらと馳せ参じたのだ。夕食から翌日昼の市内某所での豪華ウナギを堪能して、昼過ぎに小平に帰宅した。帰宅時に頭痛を訴えており、帰宅後通院したところコロナ感染

の疑いがあり、16日確定診断が出るとのこと。

16日夕刻陽性判明との連絡があった。家内も小生も喉が少々いがらっぽかったので、17日念の為かかりつけ医で検査を受けることとした。

17日午前中ワクチン接種者とは別室で、抗原検査を受検した。二人とも陰性であり、安心はしたのだが、咳、喉の痛み、微熱があり、発熱外来でPCR検査を受検した方が望ましいだろうと判断。発熱外来窓口設置医院の確認

19日、新座志木中央総合病院で予約なしではあったが、病院側の説明不足もあったのか、受けさせて貰った。家内も希望するが、発熱なく受検できなかった。

三種類の薬(咳止め、咽頭痛止め、トローチ)を処方されて、自宅で待機するよう指示、検査結果は、一日または一日半後に連絡、その後保健所からも連絡あるとのことであった。

20日昼前病院から「陽性」であった旨の連絡があった。

2回目のワクチン接種(2021/6/30)から6カ月半、ブレークスルー感染である。

孫の濃厚接触者であるのは明らかだが、その旨の連絡等は一切なく、保健所も天手古舞と察せられる。

不幸中の幸いであったのは、17日のパーティ、18日からの防災訓練が共に中止となり、ココフレンドにも参加しておらず、小生等からの濃厚接触者が皆無であったことだ。

2 自宅療養の開始

自宅療養の手引きをダウンロードして参考にする。

22日昼過ぎに保健所から連絡があり、状況を説明する。

24日、パルスオキシメーターが届けられる。

健康観察: MY HER-SYS方式(厚労省コロナ感染者状況把握管理システム)によることとした。血中酸素飽和度(SpO2)と脈拍、体温及び体調等を報告する。質問も可能

3 特異な症状

基本的には軽度の風邪症状(微熱、咽頭痛、咳)

感染初期には、何故か水が苦かった。

熱が37度半ば~36度半ばを、時間をおいて上下する。

就寝中には特に咳が出やすい。

解熱剤で次第に熱低下

酸素飽和度も測定開始直後は低かったが、24日夕刻には正常値何をするにも気力が湧かないのが残念だ。

- 4 1月22日(土)朝早く、孫娘を引き取り拙宅で同居開始
- 5 1月27日接種予定の三回目のワクチン接種の延期判断明確な根拠もなく迷う。細合医師の発症から4W後位が適当とのアドバイスに従い2月10日に変更
- 6 1月27日午後 自宅療養支援センターから自宅療養解除の連絡
明日以降、通常生活に復帰可能とのこと
自然免疫獲得につき、ワクチン接種も当分必要なし でどうするか？
- 6 健康観察の方法、HER-SYS方式で実施しているにかかわらず何度も架電があるのは、情報共有が不全なる証左か？
- 7 オミクロンは風邪と同程度と考えればいいのだろう。通常の者にとってはだが・・

(了)